

調律師のるみ子さん①

いしいしんじ

問一 次の空欄を埋めて段落内容をまとめましょう。

・ 第一段落 (教科書 現代文 A p 20・1、p 21・3)



調律師をしている () のるみさんは、昔から耳が良いと評判だったが、依頼されたピアノのチューニングはいつも一音だけをほんのわずかにずらしている。るみさんは、十年前に () を失い、() から () になったが、持ち前の容貌と耳の良さ、そしていつの間にかまた () になるピアノのおかげで注文は途絶えなかった。

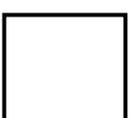
問二 次の漢字の読みをひらがなで答えましょう。

調律師 () () 評判 () () 手袋 () ()
時計 () () 玄関 () () 容貌 () ()

問三 p 20・6、7 「時計の針のようなお辞儀」とありますが、波線部のように、何か例えて文章を分かりやすくする表現技法をなんと言いますか。語群から選んで記号で答えましょう。

語群

- ア 擬人法 ぎじんほう イ 倒置法 とうちほう ウ 比喻法 ひゆほう エ 反復法 はんぷくほう
オ 体言止め たいげんども



調律師のるみ子さん②

いしいしんじ

問一 次の空欄を埋めて、段落内容をまとめましょう。

・第二段落（p 21・4、p 23・4）



とある週末に、街外れの（ ）を訪ねたるみ子さんは、静かでほとんど目が見えない（ ）の老人が指差したグランドピアノを調律する。しかしその老人は全く納得しなかったため今度は（ ）に、きわめて（ ）に、音を合わせたが、「お話になりませんな。」と言われてしまう。「（ ）と返す老人の言葉にショックを受け、仕事の依頼も断ってしまう。」

問二 p 22・4 老人が「お話になりませんな。」と言ったのはなぜか。その理由の空欄部分を次の語群から選んで書きましょう。

老人は「うちの音」に戻してもらいたいのに、（ ）は（ ）
を合わせることしか考えておらず、（ ）と感じたから。

語群

音程 分かりあえない ピアノ るみ子さん 早く帰りたい

問三 第一段落、第二段落のるみ子さんはどのような人だと思いますか。性格や考え方など、自分が思ったことを書いてみましょう。